



日本看護系学会協議会

ニュースレター

第 8 号

2007年11月1日 発行

編集発行

日本看護系学会協議会

(事務局)〒104-0044

東京都中央区明石町10-1

聖路加看護大学内

FAX : 03-5565-1626

E-mail : jsns-office@slcn.ac.jp

第8回シンポジウム

『ICTを活用した看護イノベーション』ご案内



日本看護系学会協議会

企画・広報担当理事 野 嶋 佐由美

日本看護系学会協議会は、看護学が直面している課題について、会員学会の皆様と時宜を得た取組みを行うためにシンポジウムを企画してまいりました。また、昨年度からは、少しでも多くの会員学会の皆様にご活用いただけるよう、シンポジウムの情報を日本看護系学会協議会のホームページに掲載しております。

様々な課題に直面している医療界にあって、看護もまた既存の枠組みに挑戦し、よりよい看護の創造を求めてイノベーションすることが期待されています。看護の情報化は、想像を超えた速さで日々進化しています。日常生活の中では、既にインターネットや携帯電話などの普及によって、ICT (Information and Communications Technology) という新しいコミュニケーションの世界が生まれています。この新しいコミュニケーションは、次代に向けた革命的な世界をつくることになり、看護もこれらを活用したケアへの展開が求められています。しかし一方では、新しいコミュニケーションが、これまでに経験のない障害を引き起こす危険性も多く抱えています。そのためには、その活用方法についての十分な準備が必要となります。このような時代を背景として、今年度は、第8回シンポジウム『ICTを活用した看護イノベーション』を企画しております。

今回のシンポジウムでは、日本看護研究学会から柏木公一先生、日本看護科学学会から東ますみ先生、日本看護学教育学会から大池美也子先生、日本看護管理学会から良村貞子先生をお迎えしております。柏木先生には、病院の情報化に関わったご経験から、病院での看護情報の電子化などについて、その内容と開発の方向性や課題などについて

お話しして頂こうと考えております。東先生には、主に慢性疾患患者への継続看護に対するITの活用について、開発の視点と今後の課題についてお話しして頂こうと考えております。大池先生には、今後ますます社会のIT化が進むなかで、看護基礎教育において、どのような情報教育上の視点が必要となるかについて、お話しして頂きたいと考えております。さらには、良村先生には、看護の情報化に伴って起こりうる法的な課題について、看護教育や看護実践への活用において、起こりうる問題点などについてご示唆頂きたいと考えております。

情報やICTはそれ自体としてパワーを持っていますが、一方、情報の進化によって引き起こされる障害も存在しております。看護界は、情報化やICT活用に対して、ケア対象者の尊厳や質の高いケアを提供できるように戦略的に、建設的に活用することが求められています。

第一線で看護情報に関わっておられる方々からお話をうかがい、看護ケアの向上、ケア対象者の尊厳、人間的な関わりを実現するICTを活用した看護のイノベーションを検討していく機会になればと願っています。看護教育の中での活用や看護情報教育、さらに資格制度などについても、将来の見通しと在り方をも含めたビジョンを語って頂こうと思います。多くの方のご参加を、心よりお待ちしております。

日 時 : 12月7日(金) 18:30~20:30

会 場 : 東京国際フォーラム Hall B-5-1

(最寄り駅: JR有楽町駅)

日本学術会議の動向と分科会報告

日本看護系学会協議会会長
日本学術会議看護学分科会副委員長
太田 喜久子

日本看護系学会協議会平成19年度総会後のおよそ1時間にわたり、日本学術会議の最近の動きと、看護の連携会員が属する分科会の活動報告が行われた。今後、各会員学会との協働や連携が望まれるものであり、その概要を報告する。

1. 「日本学術会議と看護界の連携」

日本学術会議会員 南 裕子

日本学術会議は210人の会員と、約2000人の連携会員より組織され、主な役割として、政策提言や科学に関する審議、科学者コミュニティの連携、科学に関する国際交流、社会とのコミュニケーションを担っている。日本学術会議には、常置委員会と臨時委員会とがあり、臨時委員会は短時間で特定の課題について提言を出すことが求められている。日本学術会議の第2部生命科学に関わる常置委員会に、健康、生活科学委員会や臨床医学委員会などがある。健康、生活科学委員会には、看護学、パブリックヘルス、子どもの健康、高齢者の健康、生活習慣病などの分科会が含まれている。臨床医学委員会には、終末期医療、老化、脳とこころなどの分科会が位置づけられている。

日本学術会議と日本看護系学会協議会の連携が強まることにより、日本学術会議としては、学際的政策提言活動や共催事業への後援、ならびに看護学とその研究者の地位向上等へと貢献することができる。また日本看護系学会協議会としては、学協会としての協力・提言、中立的・専門的な政策提言、会員・連携会員への協力を推進することができる。今後ますますの両者の連携が期待される。

2. 「看護学分科会」

連携会員 太田喜久子

看護学分科会は、看護系の会員と連携会員の全員と、看護に関心を持つ関連領域の会員、連携会員の21名からなっている。より具体的に検討を進めるため作業班を設置した。小学校から高等学校において命やケアに関わる教育がどのようにされているか、その現状と課題を検討する命/ケアの教育班が置かれた。また看護の役割拡大を検討する

ため、高齢者の健康、周産期の健康、僻地医療、終末期医療に関わる各班が設置された。各班からの報告を踏まえて課題の抽出を行っている。これらから求められる看護の役割拡大について論議し、社会への提言を行っていく予定である。各班の活動に関連する会員学会からの協力をお願いしたい。

3. 「高齢者の健康分科会」「パブリックヘルス分科会」

連携会員 金川克子

高齢者の健康分科会は、高齢者の健康維持・増進のためデータに基づく具体的対策を提案することを目的としている。シンポジウムの企画検討を行っている。

パブリックヘルス分科会は、公衆衛生学関連の学協会連絡協議会の組織化をはかり、公衆衛生大学院、アジアにおけるコミュニケーションの促進、健康格差等について論議し、検討を行っている。

4. 「子どもを元気づける環境づくり戦略・政策検討委員会」

「こどもの健康分科会」

連携会員 片田範子

前者の委員会では、昨年からの活動を踏まえ、こどもの成育のための空間、方法、コミュニティ、時間に関わる戦略について6月にまとめ、提言を行った。提言への意見等を期待する。

後者の分科会は、子どもを取り巻くさまざまな領域の専門家から成り、各領域からの課題を論議、検討しているところである。今後、看護の知見を集積し、活動を具体化するにあたり、会員学会からの協力をお願いしたい。

5. 「終末期ケア分科会」

連携会員 小松浩子

がんを中心とした慢性疾患による終末期のケアのあり方を審議する。現在「終末期医療のプロセスに関するガイドライン」の理解と課題の検討を行っている。看護系学会や看護専門領域からの終末期医療に関する論点や学術的知見を集積し、学際的な研究、成果の発信を行っていききたい。

その他、「地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会」「生活習慣病対策分科会」(連携会員草間朋子)からは紙面報告があった。

日本学術会議の委員会、分科会はいずれも学際的なメンバーからなり、全体構成についてはホームページを参照されたい。<http://www.scj.go.jp/index.html>

日本学術会議との連携情報

看護の裁量権拡大に関する緊急会議が10月20日(土)聖路加看護大学2号館において開催された。日本学術会議に医療イノベーション検討会が設けられ、看護の裁量権の拡大等と関連した議論が行われたため、緊急に、日本学術

会議看護学分科会と看護系学会協議会との共催で会議が開催された。この会には、看護学分科会委員と協議会役員ならびに、看護の各専門領域をカバーするために日本クリティカルケア看護学会、日本在宅ケア学会、日本精神保健看護学会からの12名が参加し今後の方向性について討議した。多様な場を想定しながら、どのような裁量権が必要なのかを具体的に検討していくことで合意が得られた。日本の医療に看護がどのように貢献していくか重要な課題であるので、日本看護系学会協議会と日本学術会議看護学分科会との連携活動として今後も継続して検討することになった。この成果は日本学術会議看護学分科会報告に反映される予定である。

平成19年度 日本看護系学会系協議会 総会報告

平成19年6月16日(土)13:00~14:00に、聖路加看護大学2号館において、今年度の総会が開催されました。以下にその議事内容について報告します。

報告事項

1. 本学会員学会状況(平成19年5月31日現在) 田代理事
平成17年度から3学会増え、会員学会数は33となった。
2. 平成18年度 役員活動報告
 - 1) 第7回シンポジウム報告(野嶋理事)
2月9日に日本がん看護学会の協力を得て、「在宅療養を支援する看護の方略」をテーマにシンポジウムが開催され、91名が参加した。この内容は、資料などを整理してホームページに近日中に公開する。
 - 2) ニュースレター報告(手島理事)
ニュースレター7号が発行され、会員学会宛に送付された。
平成18年度庶務、シンポジウム、ニュースレター報告について、拍手をもって承認された。
 - 3) 平成18年度会計報告(亀岡理事)
資料4に基づいて決算報告がなされた。
31学会から各8万円の会費が納入されたが、未納入1学会分は平成19年度予算とする。
 - 4) 監査報告(佐藤監事)
平成19年4月21日に平成18年度会計報告について監査を行い、会計帳簿、書類等を照合調査の結果、報告書と相違ないことが報告された。
平成18年度会計報告は拍手をもって承認された。

審議事項

1. 平成19年度事業計画について(太田会長)
ホームページの刷新と、第8回シンポジウム(12月7日18:00-20:00、ICT情報と倫理、法規制に関してテーマとする)を含む、事業計画の説明がされ、原案のとおり承認された。
2. 平成19年度予算案について(小山理事)
原案のとおり承認された。
3. その他
日本学術会議協力学術研究団体としての協力は当該協議会の設立趣旨にも合致することであるので、登録をしたい旨の説明が太田会長よりなされ、登録が承認された。会員学会には登録手続きのための協力をお願いすることになった。
国内外の学術組織との相互協力を積極的にはかることが展望として述べられ、総合科学技術会議や学士院、WHOグローバルネットワークなどがあげられ、本会の目的にかなう連携を促していきたいという方向性が示された。

(平成19年度33会員学会のうち、25学会出席、5学会委任状により総会成立)

日本看護系学会協議会第8回シンポジウム ICTを活用した看護イノベーション

日 時：2007年12月7日（金）

18時開場 18時30分～20時30分

場 所：東京国際フォーラム（最寄り駅：JR有楽町駅）

東京国際フォーラム Hall B-5

参加費：無 料（定員：椅子席で200名収容可能）

日本看護系学会協議会会員名簿（平成19年9月29日）

会 員 名	会 員 名
・高知女子大学看護学会	・日本在宅ケア学会
・聖路加看護学会	・日本手術看護学会
・千葉看護学会	・日本小児看護学会
・日本家族看護学会	・日本循環器看護学会
・日本看護科学学会	・日本助産学会
・日本看護管理学会	・日本新生児看護学会
・日本看護技術学会	・日本腎不全看護学会
・日本看護学教育学会	・日本精神保健看護学会
・日本看護教育学会	・日本赤十字看護学会
・日本看護研究学会	・日本地域看護学会
・日本看護診断学会	・日本糖尿病教育・看護学会
・日本看護福祉学会	・日本難病看護学会
・日本看護歴史学会	・日本不妊看護学会
・日本がん看護学会	・日本母性看護学会
・日本救急看護学会	・日本慢性看護学会
・日本クリティカルケア看護学会	・日本老年看護学会
・日本災害看護学会	

【役員】

会 長 太 田 喜久子

副会長 金 川 克 子

副会長 小 松 浩 子

理 事（会 計） 亀 岡 智 美

理 事（企画・広報） 川 口 孝 泰

理 事（会 計） 小 山 眞 理 子

理 事（庶 務） 田 代 順 子

理 事（庶 務） 手 島 恵

理 事（企画・広報） 野 嶋 佐 由 美

理 事（庶 務） 松 谷 美 和 子

理 事（学 術 会 議） 南 裕 子

監 事 川 嶋 み どり

監 事 佐 藤 禮 子

（アイウエオ順）

- 編集後記 -

日本学術会議看護分科会からの報告、シンポジウム案内、看護裁量権会議のニュース等をお知らせしました。新体制の日本看護系学会協議会の方向性が、日本学術会議における看護分科会の活動やその他の分科会の活動が明確になるに従って、見えてきつつあると思います。本協議会の目的の実現“看護学学術団体の立場から、国民の健康と生活の質の向上”のため国・社会の提言への道筋や、会員学会の参与システムの整備の課題等を考えていただけると幸いです。（庶務担当理事 田代 順子）

URL : <http://plaza.umin.ac.jp/jsns/>

学 会 名	理 事 長	学 会 連 絡 先					ホームページアドレス
		郵便番号	学会連絡先住所	学会 TEL	学会 FAX	学会 E-mail	
1 高知女子大学看護学会	松 本 女 里	781-0111	高知県高知市池2751-1 高知女子大学看護学部内	(088)-847-5524	(088)-847-5524		松 本 女 里 http://www.kochi-wu.ac.jp/~nsgakkai/index.html
2 聖路加看護学会	田 代 順 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1	(03)-3543-6391	(03)-5565-1626		田 代 順 子 http://sinr.umin.jp/
3 千葉看護学会	正 木 治 恵	260-8672	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学看護学部内 成人看護学教育研究分野	(043)-226-2426	(043)-22-2621		佐 藤 まゆみ http://cans.umin.jp/
4 日本家族看護学会	石 垣 和 子	260-8672	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学看護学部訪問看護学 教育研究分野内	(043)-224-6805	(043)-224-6805	family_chiba_u_2007@ yahoo.co.jp	石 垣 和 子 http://square.umin.ac.jp/jarfn/
5 日本看護科学学会	南 裕 子	113-0033	東京都文京区本郷3-37-3 富士見ビル201	(03)-5805-1280	(03)-5805-1281	jans-office@umin.ac.jp	南 裕 子 http://jans.umin.ac.jp
6 日本看護管理学会	佐 藤 エキ子	104-8560	東京都中央区明石町9-1 聖路加国際病院 看護管理室内 日本看護管理学会事務局	(03)-5550-7005	(03)-3544-0649	uramiyu@luke.or.jp	佐 藤 エキ子 http://janap.umin.ac.jp
7 日本看護技術学会	川 島 みどり	120-0036	東京都足立区千住仲町14-4・2F 健和会臨床看護学研究所内	(03)-5813-1317	(03)-5813-1317	jsnas@nifty.com	川 島 みどり http://homepage3.nifty.com/JSNAS/
8 日本看護学教育学会	佐 藤 禮 子	105-0012	東京都港区芝大門2-12-6 芝八タビル402	(03)-5472-7455	(03)-5472-7465	jimukyoku@jane-ns.org	佐 藤 禮 子 http://www.jane-ns.org
9 日本看護教育学学会	永 野 光 子	260-8672	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学看護学部看護教育学 教育研究分野内	(043)-226-2397	(043)-226-2397	jasne-office@umin.ac.jp	舟 島 なをみ http://jasne.umin.jp
10 日本看護研究学会	山 口 桂 子	260-0856	千葉県千葉市中央区亥鼻1-2-10	(043)-221-2331	(043)-221-2332	jsnr@bridge.ocn.ne.jp	山 口 桂 子 http://www.jsnr.jp
11 日本看護診断学会	江 川 隆 子	540-0037	大阪市中央区内平野町2-3-5	(06)-6941-6701	(06)-6941-6702	jsnd@dolphin.ocn.ne.jp	江 川 隆 子 http://jsnd.umin.jp/
12 日本看護福祉学会	杉 本 敏 夫 (代表理事)	607-8175	京都市山科区大宅山田町34 京都橋大学看護学部内	(075)-574-4251	(075)-574-4251	okazaki@tachibana-u.ac.jp	岡 崎 美智子 http://kangofukushi.sakura.ne.jp/
13 日本看護歴史学会	川 島 みどり	990-9585	山形市飯田西2-2-2 国立大学法人山形大学医学部 看護学科	(023)-628-5432	(023)-628-5432	satataka@yubin.nrs.kitasato-u.ac.jp ; nhistory-gakkai@umin.ac.jp	田 中 幸 子 http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/
14 日本がん看護学会	佐 藤 禮 子	650-8530	神戸市中央区港島1-3-6 兵庫医療大学看護学部内	(078)-304-3000	(078)-304-2714		鈴 木 久 美 http://jscn.umin.jp
15 日本救急看護学会	中 村 恵 子	564-0052	大阪府吹田市広芝町18-24 メティカ出版内		(06)-6310-9901	jaen-adm@umin.ac.jp	中 村 恵 子 http://jaen.umin.jp
16 日本クリティカルケア看護学会	井 上 智 子	113-8519	東京都文京区湯島1-5-45 医科歯科大学大学院保健衛生学研 究科先端医療看護学看護学分野内		(03)-5803-0156		井 上 智 子 http://jacn.umin.jp/
17 日本災害看護学会	南 裕 子	650-0044	兵庫県神戸市中央区東川崎町1-3-3 兵庫県立大学大学院応用情報 科学研究科内	(078)-367-8630	(078)-367-8630	azuma@ai.u-hyogo.ac.jp ; jsdnjimukyoku@cnas.u-hyogo.ac.jp	東 ますみ http://www.jsdn.gr.jp/
18 日本在宅ケア学会	白 澤 政 和	105-0001	東京都港区虎ノ門3-7-2 ㈱ワールドプランニング内	(03)-3431-3715	(03)-3431-3325		白 澤 政 和 http://plaza.umin.ac.jp/~jahhc/
19 日本手術看護学会	久保田 由美子	113-0033	東京都文京区本郷3-24-8 第一今村ビル4F	(03)-3813-0485	(03)-3813-0539	jona@yacht.ocn.ne.jp	坂 崎 幸 子 http://www.jona.gr.jp/index.shtml
20 日本循環器看護学会	井 部 俊 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学 井部俊子研究室内	(03)-5550-2274	(03)-5550-2274	office@jacn.jp	滝 口 珠 子 http://janap.umin.ac.jp
21 日本小児看護学会	日 沼 千 尋	162-8666	東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学看護学部内 日本小児看護学学会事務局	(080)-5540-1322	(03)-3357-4874	jschn@nurs.twmu.ac.jp	日 沼 千 尋 http://jschn.umin.ac.jp/
22 日本助産学会	堀 内 成 子	111-0054	東京都台東区鳥越2-12-2 日本助産師会館3階	(03)-3865-3032	(03)-3866-3032	jam1987@ninus.ocn.ne.jp	杉 山 ちよ子 http://square.umin.ac.jp/jam/
23 日本新生児看護学会	横 尾 京 子	734-8551	広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院保健学研究科内	(082)-253-4636	(082)-253-4636	yokoo@hiroshima-u.ac.jp	藤 本 紗央里 http://square.umin.ac.jp/~shinscij/
24 日本腎不全看護学会	水 附 裕 子	231-0013	神奈川県横浜市住吉町1-4 第3井ビル5-A	(045)-226-3091	(045)-226-3092	uda-jann@yk.rim.or.jp	宇 田 有 希 http://www11.ocn.ne.jp/~jann1/
25 日本精神保健看護学会	田 中 美恵子	329-0498	栃木県下野市薬師寺3311-159 自治医科大学看護学部	0285-58-7512	0285-58-7512	ynagai@jichi.ac.jp	永 井 優 子 http://www.japmhn.jp/
26 日本赤十字看護学会	新 道 幸 恵	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)-3409-0722	(03)-5485-5777		守 田 美奈子 (担当理事) http://plaza.umin.ac.jp/jrcsns/
27 日本地域看護学会	小 西 美智子	471-8565	豊田市白山町七曲12-33 日本赤十字豊田看護大学内	(0565)-36-5111	(0565)-37-8557	konishi@rctoyota.ac.jp ; chikango-acd@umin.ac.jp	小 西 美智子 http://jachn.umin.jp/
28 日本糖尿病教育・看護学会	河 口 てる子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)-3409-0912		jaden@redcross.ac.jp	河 口 てる子 http://jaden.umin.ac.jp/
29 日本難病看護学会	牛 込 三和子	183-8526	東京都府中市武蔵台2-6 東京都神経科学総合研究所 難病ケア看護研究部門内	(042)-325-3881	(042)-328-7311		牛 込 三和子 http://square.umin.ac.jp/intrac/
30 日本生殖看護学会	森 明 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学内 日本不妊看護学学会事務局	(03)-5550-2266	(03)-5550-2266	jsin@slcn.ac.jp	森 明 子 http://jsin.umin.jp
31 日本母性看護学会	前 原 澄 子	607-8175	京都市山科区大宅山田町34 京都橋大学内	(075)-574-4261	(075)-574-4261	jsmn@mcn.ac.jp	竹 明 美 http://www.mcn.ac.jp/bosci/
32 日本慢性看護学会	野 並 葉 子	673-8588	兵庫県明石市北王子町13-71 兵庫県立大学明石キャンパス	(078)-925-9447	(078)-925-0878	chronic-n@snas.ac.jp	森 菊 子 http://jscicn.com/
33 日本老年看護学会	中 島 紀恵子	943-0147	新潟県上越市新南町240 新潟県立看護大学 日本老年看護学学会事務局	(025)-526-3117	(025)-526-3117	world@med.email.ne.jp	中 島 紀恵子 http://www.rounenkango.com/